

第 5 回検討委員会における主な意見

- 1 仙台城跡の動植物についての記載で、種の羅列ではなく特徴を示してほしい。
- 2 序文に、今回の計画は現行計画を見直し、前の計画からどう充実させたかを書くべきだ。
- 3 観光目線のことを書いてほしい。
- 4 保存と活用のバランスをとりつつ、観光に資する部分を積極的に入れた方が良い。
- 5 史跡の構成要素の写真を載せているが、それが本質的価値を構成する諸要素なのか、それ以外の要素なのか分かりにくい。
- 6 これからの地域社会の維持、発展のためには、観光も手段の一つと考えられるので、そういった記述もあった方が良い。
- 7 仙台城跡でガイド活動をしていると、歩いて訪れる人、クイズラリー参加者、学校の見学などが以前より増えてきている。こういった点を踏まえ、これからは保存より活用に重点を置いてほしい。
- 8 活用の方向性と方法の項では、章立てや、内容の関連性など見直した方が良い。
- 9 写真などをもっと入れて、イメージが伝わるようにした方が良い。
- 10 天然記念物青葉山の保存活用計画を東北大学が作っていく際には仙台市も協力してほしいし、東北大学と連携し、計画に則って活用していくことを書いても良いのではないか。
- 11 巽門の復元整備は、予算の問題をクリアして計画が立てられれば建てられないことはないと思うし、そこから本丸へ登ることにより、山城であることや本丸の価値などが体感できる良い復元整備になると思う。20 年後に復元整備できるようなイメージを持てるのか。
- 12 施策の実施計画が文章だけなので、スケジュール観が読み取りにくい。また、10 年、20 年と単位で示されているが、1 年、3 年、5 年単位くらいに、スピード感があり実効性の伴うような表現の方が良い。

- 13 仙台らしさが文章から読み取れると良い。
- 14 運営や実施計画のところのページ数が少ない。
- 15 市民団体の活動と市との連携についてだが、市の1か所の部局に連絡すれば済むような組織はできないか。
- 16 大手門の復元に関して、検討していくとあるが、検討と言っているうちに10年、20年はすぐたってしまうので、スピード感のあるものを目指していくべきではないか。また、大手門復元に関わる道路の問題をどう解決するのかもう少し踏み込んでほしい。
- 17 パブリックコメントについては、これから20年の計画という事でもあるので、若い方々に重点をおいて集めた方が良い。